

平成 28 年度 第 1 回海老名市子ども・子育て会議 次第

日 時 平成 28 年 4 月 28 日 (木)
午前 10 時から
場 所 海老名市役所 政策審議室

1 開 会

2 保健福祉部長あいさつ

3 議 題

【審議事項】

(1) 子ども・子育て支援事業計画の平成 27 年度実績報告について
【資料 1】

(2) 子ども・子育て支援事業計画の改定について 【資料 2】

【報告事項】

(3) 平成 28 年度における特定教育・保育施設の定員設定について
【資料 3】

(4) 「(仮) 子育て応援宣言」の策定状況について 【資料 4】

4 閉 会

平成28年度 子ども・子育て会議 委員名簿

氏名	ふりがな	所属	職名
久保由美	くぼ ゆみ	(株)リコー テクノロジーセンター	
◎ 鍛治邦彦	かじ くにひこ	県中央地域連合	事務局長
鍵渡香代子	かぎわた かよこ	海老名幼稚園	園長
小島良之	こじま よしゆき	つちのこ保育園	理事長
櫻井慶一郎	さくらい けいいちろう	さくらい保育園	副園長
山田由美子	やまだ ゆみこ	チュンマclub	代表
木村伸之	きむら のぶゆき	にこにこ保育園	代表
吉村まい	よしむら まい	PTA連絡協議会	杉久保小学校 PTA会長
増田芳夫	ますだ よしお	社会福祉協議会	事務局次長 兼総務課長
◎ 新倉美和子	にいくら みわこ	社家小学校	校長
亀澤ますみ	かめざわ ますみ	民生委員児童委員 協議会	主任児童委員 部会長
熊澤紀千代	くまざわ みちよ	国際ソロプチミスト 海老名	
田島紀子	たじま のりこ	公募市民	
渡部理子	わたなべ みちこ	公募市民	
村田愛	むらた あい	公募市民	

◎印は会長 ○印は副会長

海老名市子ども・子育て支援事業計画達成状況

資料1-1

基本目標

1 新たなえびなの子育て計画

基本施策

(1) 子ども・子育てに対する市民の意識醸成

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
65	子ども憲章の制定	海老名市の未来を支える子どもたちを健やかに育てよう、海老名市で暮らし・育つ子どもたちとその子育て家庭を、市民、地域全体で支える市民の意識づくり。さらには、子どもも大人もともに理解し合い、お互いがいきいきと暮らせる社会づくりに向け、「子ども憲章」を定め、その普及・啓発を図ります。	数値目標なし			(仮)海老名市子育て応援宣言として実施するべく検討。保護者向けにアンケートを実施した。	平成27年度は保護者向けアンケートを実施したが、平成28年度は小中学生向けアンケートを実施しながら検討を進め、市制施行記念式典において公表する予定。	数値目標なし					子育て支援課
65	お宝一生米事業	海老名市の明日を担う“えびなっ子”誕生を海老名市全体でお祝いするため、出生届の受け付け時にお祝いの品を贈呈します。お祝いは、「お宝一生米」と銘打ち、米1升とします。これは、「子どもが一生元気ですこやかに過ごせるように」との願いを込め、名づけたものです。米は、郷土愛をはぐくむため、県下有数の米どころである海老名市産の米や、姉妹都市である白石市のある宮城県産の米を優先して用います。	配布数		1,100箱	市民が出生届を提出した際に「お宝一生米」としてお米1.5キログラムを贈呈した。なお、平成27年度は「子どもの年」であったため、配付を行っていましたが、単年度事業のため廃止とする。	平成27年度をもって事業廃止	数値目標なし					子育て支援課
65	紙おむつ支給事業	赤ちゃんの必需品であるおむつは、出産直後の家庭の経済的負担ともなります。産後うつにもなりやすいこの時期に、市で紙おむつを支給することで、海老名市全体で育児をサポートし、精神的にも経済的にも子育て世帯をサポートします。	配布数		6,050袋	市民が出生届を提出した際及び4か月検診の際に紙おむつを3袋ずつ計6袋贈呈した。	引き続き実施し、4か月検診への円滑な案内、家庭の経済的負担の解消に努める。	数値目標なし					健康づくり課 子育て支援課

基本施策

(2) 少子化対策の推進

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
66	子ども医療費助成の継続	海老名市では0歳から中学生までの市内在住の子どもを対象に、ケガや病気などで医療機関を受診した際の医療費の助成を行っています。医療機関受診時に保護者が支払う医療費のうち、保険診療の自己負担分を助成します。	子ども医療費助成対象者数	18,107	17,977(見込)	所得制限を設けず、市内在住の0歳から中学校修了までのお子様に対して通院・入院の医療費の助成を行うことで、お子様の健やかな成長を助け、子育て家庭の経済的負担を軽減いたしました。	・子ども医療証の持ち運びやすさを改善するため従来のB7サイズからカードサイズへコンパクト化を図りました。 ・子ども医療証の破損・汚損等を避けるため、医療証の発行周期を見直しました。(小学生以上は有効期間を9年間としていたものを有効期間を1年間とし毎年更新)	子ども医療費助成対象者数	18,239	18,292	18,529	18,446	子育て支援課
68	病後児保育	子育て支援センター内の専用スペース(病後児保育室(いちごルーム))で、病気の回復期にある生後8週間から小学3年生までの子どもを一時的に預かります。	病後児保育利用者数	114	70	病気の回復期やケガなどの児童を一時的に預かることにより、親の子育てと就労等の両立を支援しました。	利用率の向上を図るため、平成28年度から事前登録制度を廃止し、少しでも利用者の負担を減らすことで、利用の促進を図っていく。	病後児保育利用可能人数	624	624	624	624	子育て支援課
68	病児保育	小学3年生までの市内在住の子どもを対象に、急な病気等の時に対応できるよう病院内に設けられた専用スペースで、治療中の児童を一時的に預かります。	数値目標なし			実施せず	病児保育については、実際に病気中のお子さんを預からなければならぬため、医療体制の確保が必要であることから、実施に向け調査研究していく。	病児保育利用可能人数		500	500	500	子育て支援課
69	不妊治療・不育症治療への助成	海老名市在住者で、神奈川県が実施する「特定治療支援事業」で助成を受けた人を対象に、特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に要した保険診療外の費用の一部を助成します。また、不育症治療に要した保険給付対象外の費用の一部を助成します。	数値目標なし			特定不妊治療費助成金については、延べ109件の申請があり、不育症治療費助成金については1件の申請があった。	引き続き、医療機関や市民への周知を図っていく。	数値目標なし	数値目標なし			健康づくり課	

基本施策

(3) 子どものスポーツへの支援

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
71	オリンピック強化指定選手などへの支援	海老名市体育協会と連携し、少年少女スポーツクラブの育成、高度スポーツ誘致、また高度スポーツ誘致事業において合わせて実施している各競技別クリニックや教室を内容充実しながら継続して実施し、スポーツ競技力の向上を図るとともに、トップアスリートを輩出する環境づくりとして、日本代表選出やオリンピック強化指定を受けた選手などに、各競技大会参加に伴う遠征費用助成やスポンサー提携の斡旋など新たな支援策を整備します。	数値目標なし			①リコーラグビークリニック 日時:平成27年5月31日(日) 場所:海老名運動公園陸上競技場 参加者:100名 ②BJリーグバスケットボールクリニック及び観戦 日時:平成27年11月21日(土)22日(日) 場所:海老名運動公園総合体育館 参加者:両日ともに50名 計100名 ③WJBLバスケットボールクリニック及び観戦 日時:平成27年11月29日(日) 場所:海老名運動公園総合体育館 参加者:50名	多種目の高度スポーツ誘致に向けた調整をする。 また、日本代表選出やオリンピック強化指定を受けた選手などに、助成をする予定。	数値目標なし				文化スポーツ課	
71	児童への屋内プール無料開放	天候に左右されずに快適な施設で安全な管理のもと、夏季における小学生の健康増進・体力の向上、水泳に親しむ機会の提供と水泳競技人口の増加等を目的に、夏季休業期間中の屋内プールを小学生に無料開放します。	数値目標なし			1 実施期日 平成27年7月1日(水)～8月31日(月) 2 利用人数 16,937名(昨年比:367名減・26年度:17,304名) 内訳:小学生(低学年) 4,133名、小学生(高学年) 7,466名、同伴者5,180名、中学生158名	昨年に比べ、利用者の減少がみられるため、更なるHP等での周知を行う。	数値目標なし				文化スポーツ課	
72	部活動の充実	子どもが伸び伸びと、安全に部活動を実施できるよう、知識と経験を備えた指導者の派遣、地域社会の文化・スポーツの中心として地域活動推進に協力する部に支援するなど、生徒の心身の発達に重要な役割を担う、部活動の充実を図ります。	数値目標なし			・部活動支援交付金を各学校に給付 ・外部指導者派遣54名 計 3190 回 ・地域活動に協力した部活動への交付金給付 47 回	・部活動地域活動推進協力奨励金の増額	数値目標なし				教育支援課	
72	小学校スポーツ大会の実施	子どものスポーツに対する興味、自己記録への関心、意欲の向上を図るための小学校連合運動会を開催します。	数値目標なし			日時 平成27年10月23日(金) 場所 海老名運動公園陸上競技場 参加 市内小学校6年児童 1,246名	・バス移送計画の検討 ・レクリエーション種目内容の検討	数値目標なし				教育支援課	
72	学校施設の開放	小中学校の運動場、体育館を休日等に開放していることを周知し、利用者を増やすとともに、夜間の照明付運動場の開放等、学校スポーツ施設の活用を図ります。	数値目標なし			地域の交流活動やスポーツ振興を目的とした活動に利用されています。	利用登録団体数が伸びない状況が続いているため、利用者にとって利用しやすい環境を検討する必要がある。	数値目標なし				教育総務課	

72	海老名市・白石市・登別市青少年スポーツ交流事業	宮城県白石市、北海道登別市は、海老名市と都市間交流事業を結んでおり、「水泳交流」や「少年野球交流」など、スポーツを通じた児童・生徒の交流を行っています。異年齢の子どもや幅広い世代との交流など、スポーツを通じて子どもの豊かな人間性・社会性を育むため、今後も推進します。	数値目標なし		<p>①えびな少年少女スポーツクラブ・登別スポーツ交流 日時：平成27年7月31日(金)～8月2日(日) 場所：北海道登別市 種目：剣道、バレーボール、サッカー、柔道、新体操 参加者：えびな少年少女スポーツクラブ 25名(体育協会、各加盟種目団体会員及び指導者)</p> <p>②えびな少年少女スポーツクラブ・白石スポーツ交流 日時：平成27年8月7日(金)～9日(日) 場所：宮城県白石市 種目：サッカー 参加者：海老名市サッカー協会(少年サッカー)15名</p>	平成27年度は、登別市と白石市と別日程で実施したが、平成28年度は同時期に設定し三市合同で開催する予定。	数値目標なし	数値目標なし	文化スポーツ課
----	-------------------------	---	--------	--	---	--	--------	--------	---------

基本目標

3 地域における子育て支援の充実

基本施策

(1)地域における子育て支援の充実

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
88	利用者支援窓口の拡充	子ども・子育て支援新制度に伴い、今後は、市の子ども・子育て支援課担当窓口、子育て支援センターを総合窓口とし、相談する保護者がそれぞれ望む保育サービス、教育・施設等が選択できるよう、施設等の情報提供などをし、利用者支援の拡充に取り組めます。また、海老名市に住む外国籍の保護者が、市の子ども・子育て支援課担当窓口を利用しやすいよう、英語等での対応ができる職員の配置なども取り組めます。	窓口設置数	/	/	保育所の需要が拡大する中、現状では、全ての保育ニーズにこたえられているわけではありません。それぞれの家庭の状況を細かくお聞きし、認可保育所だけではなく、幼稚園の預かり保育、保育所における一時預かり、ファミリー・サポートなど、それぞれに合った保育サービスを提案するなど、親身に相談に応じられるよう努めました。	平成28年度からは、子育て支援課受付窓口をこれまでのサービスを充実し、相談する保護者を支援するため、「保育コンシェルジュ」を導入します。	窓口設置数	1	1	1	1	子育て支援課
90	地域子育て支援拠点事業の充実	海老名市立子育て支援センター(すくすく)では、子育て中の保護者とその子ども、これから子育てを始める人を対象に、子育てを支援しています。現在、育児に関する不安や悩みの解消に役立つよう、サークル活動の場や育児情報等の提供、子育てサークルの育成、新しいサークルの立ち上げなどの支援等を行っており、今後も継続して取り組めます。	数値目標なし	/	/	子育て支援センターでは、保健師とも連携し、子育てにかかる相談を行うほか、各種子育て相談、子育てサロン、おやこふれあい広場、各種講座及びサークル活動などを実施しました。	移動サロンの開催回数を各地域月1回から月2回へ拡大します。また、年齢別サロンの開催回数も月4回から月8回に拡大し、子育て支援の更なる充実を図ります。	数値目標なし	数値目標なし				子育て支援課
91	子育て支援センター事業の充実	子育てに関する知識等を持つ保育所の専門的な機能を活用して、育児不安の解消や、子供・親同士が交流できる場を提供することを目的に、海老名市立子育て支援センター(すくすく)で、育児相談等を行っています。現在、地域の子育て家庭の養育ニーズに対応するため、育児相談のほか、子育て家庭交流事業、中高生と園児の体験交流等を行っており、今後も継続して実施します。	別途確認				子育て支援課						
93	子育て短期支援事業の充実	保護者の疾病、仕事等により、家庭での子どもの養育が一時的に困難となった子どもを対象に、児童養護施設等で一定期間、養育・保護します。市の広報誌等で周知に努め、利用を促進します。	利用者数	/	/	利用相談等の実績はありませんでした。	支援が必要な家庭に対するサービス提供は必要ですが、利用が必要と見込まれる事例がないため、今後の事業展開について再検討を図ります。	利用者数	0	0	10	10	子育て支援課

95	ファミリー・サポート・センター事業の充実	ファミリー・サポート・センター事業は、預かる側の援助会員、サービスを利用する側の利用会員がともに地域住民同士であり、お互いを支援・援助するシステムです。今後も、保育所の送迎等のほか、急な残業や緊急時等における子どもの一時的な預かりなどにも対応できるよう、会員間で行う援助活動の調整等を行っていきます。また、今後の子育て支援の充実に向け、市では、会員条件、登録制度等についての情報提供を強化し、事業の充実に努めます。	利用者数	815	872	ファミリー・サポート・センターは、地域の人が互いに子育てを支え合うことを目的に実施しました。また、活動件数については、2,965件となり、最も多いのは、「保育園、幼稚園の送迎、預かり」が1,872件、次いで「学童保育の送迎、預かり」が461件となりました。	援助会員が保育園や塾等に送迎する場合の利用料金について、送迎に要する時間は、援助活動として拘束される時間であることから、往復の時間を含めて利用料金の見直しを検討していく。	利用可能人数(6-11歳)	3,300	3,300	3,300	3,300	子育て支援課
96	幼稚園における園児を対象とした一時預かり(預かり保育)	新制度では、幼稚園の保育時間終了後において、延長保育を希望する保護者のニーズに対応するため、在園児を対象に私立幼稚園での預かり保育を実施することで、保育サービスを拡充していきます。このため、幼稚園及び認定こども園への入所を希望する児童を量の見込みとして、その確保に向けて、各施設における受け入れ拡充を要請していきます。	利用者数(延べ人数)		8,600	園児1人当たり400円前後の補助単価で一時預かり幼稚園型実施園に補助する。 市内:2園 市外:4園	引き続き幼稚園で一時預かり事業を継続して実施できるよう支援していきます。	利用可能人数(延べ人数)	245	389	449	449	子育て支援課
97	保育所における一時預かり事業	保護者の働き方の多様化や今後も深まるであろう保育ニーズ等を考慮し、現在、実施している保護者の就労等で一時的に家庭での保育が難しい子どもを対象にした保育所での一時預かり事業を、今後も継続して行っていきます。	利用者数(延べ人数)	4,145	9,397	平成27年4月から新たに民間による「えびなの風保育園」が開園し、一時預かり事業を実施され計8園となりました。	引き続き各保育所で一時預かり事業を継続して取り組めるよう支援していくとともに、未実施の保育所についても実施のお願いを行っていきます。	利用可能人数(延べ人数)	5,000	5,000	5,000	5,000	子育て支援課
98	延長保育事業の継続	現在、海老名市内の公立・私立合わせ18の保育所において、延長保育事業を実施しています。今後も保護者のニーズ等から、一定の利用希望者が見込まれるため、引き続き各保育所で延長保育事業を継続して取り組めるよう、海老名市では支援します。	利用者数(延べ人数)	33,219	46,120	平成27年4月から新たに民間による「えびなの風保育園」及び公立による「上河内保育園」が開園され、延長保育事業を実施しました。	引き続き各保育所で延長保育事業を継続して実施できるよう支援していきます。	利用可能人数(延べ人数)	22,000	22,000	22,000	22,000	子育て支援課
99	実費徴収に係る補足給付を行う事業	保護者の世帯所得の状況等から、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用の一部を助成します。世帯所得や補助要件などを設定し、助成します。	数値目標なし			平成27年4月1日施行の子ども・子育て支援法により定められた新規事業である「実費徴収に係る補足給付を行う事業」について、当該事業の補助金に係る要綱を制定し、生活保護被保護世帯等について補助を行いました。 対象数:20件 補助金額:106,540円	継続して実施していきます。	数値目標なし					子育て支援課
100	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	保育施設等の事業を希望するが土地等に課題のある事業者などの相談等に対応し、情報の提供などを行い、新規事業者参入促進に努めます。今後は、待機児童が解消されるまで保育所誘致を進め、基準を満たした民間事業者には、保育所設置認可を行います。	数値目標なし			民間事業者、土地所有者等からの保育所設置相談について対応し、熟度の高いものについては、県との協議に進みました。	継続して実施していきます。	数値目標なし					子育て支援課

基本施策

(2)安全・安心な教育・保育環境の保全

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
101	安全監視員配置	現在、市内すべての保育所、小学校の通学路等で登下校時に、安全監視員を配置し、子どもの安全に努めています。今後も、子どもたちが事故等に巻き込まれないよう通学路周辺等を確認し、子どもたちへの注意等も含めた指導を行い、子どもたちの安全に努めます。	数値目標なし			平成27年4月から新たに上河内保育園が開園しました。他の園と同様に3名配置し、児童の送迎時の安全確保に努めました。	今後も継続して実施していきます。	数値目標なし					子育て支援課
101	安全・安心子どもパトロール	低年齢の子どもは、特に事故防止策が重要となります。現在、子どもたちが安心して過ごせる環境となるよう、警察官OB等が市内の幼稚園・保育所などを巡回し、子どもの安全確保に取り組んでいます。今後も継続して行っていきます。	数値目標なし			警察官OBが、警備に即した制服で、保育園・幼稚園を巡回し、児童の安全に努めました。	今後も継続して実施していきます。	数値目標なし					子育て支援課
101	学校安全の確保	現在、市では、通学路安全パトロールの実施、小学校への安全監視員の配置など、子どもたちの登下校時や学校生活において子どもの安全確保となるよう努めています。今後は、更なる充実を図るとともに、保護者への安全意識の啓発を図ります。	数値目標なし			市内小学校の通学路に対して、1年生の下校時刻に合わせて通学路巡回員(計6名)がパトロールを実施し、下校時の児童の安全確保に努めた(1日4名が2名ずつ2班で市南部と北部を巡回)。また、小学校に3名ずつ(計39名)学校安全監視員を配置し、校門付近の立哨及び学校敷地内の巡回を行い、小学校の安全確保に努めた。	児童・生徒の安全確保を図るため、今後も継続して実施。	数値目標なし					就学支援課

基本施策

(3) 児童の健全育成の取組と推進

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
105	放課後児童健全育成事業(学童保育)	<p>小学校の近隣に学童保育施設がない地区については、周辺状況等を勘案した上で、学校余裕教室等の活用あるいは学校敷地内や近接地における新たな施設建設等による対応方を市で検討し、計画期間内に1か所以上の公設民営学童保育の設置による環境充実を図ります。新たに設置する学童保育は、一体型を目指します。また、学童保育の施設や指導員等に関する基準を条例で定めることで環境の適正化や一定水準の確保に努めるとともに、学童保育の運営圧迫につながらないよう配慮しながら既存の市補助金制度を見直し、開所時間延長をはじめとした保護者ニーズへの対応促進や条例で定める運営基準の推進を目指します。</p> <p>様々な形態で行われている現在の学童保育のうち主に保護者会運営の学童保育については、運営主体の法人化に向けた情報提供等により、安定的な運営を支援していきます。</p>	登録人数	894	920	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育事業者への補助金を引き上げて支援を拡充。 運営主体のNPO法人化に向けた勉強会を開催。次年度から3事業者がNPO法人へ移行予定。 今泉小学校区における学童保育施設建設について検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者へのさらなる補助充実による運営支援 支援員や施設確保に係る支援 今泉小学校区における学童保育施設のあり方に関する検討の継続 低所得世帯向けの保育料支援を目的とした補助新設 	利用可能人数(6-8歳児)	670	671	681	677	学び支援課
			平均利用人数	55	149			利用可能人数(9-11歳児)	300	300	304	302	学び支援課

106	放課後子ども教室(あそびっ子クラブ)	海老名市においては、平成19年度から全ての小学校であそびっ子クラブを開設していますが、学校だけでなく地域の様々な大人も深く関わっている事業であることから、今後は市教育委員会の教育基本構想である「えびなっ子あわせプラン」において推進する「学校・家庭・地域がとものつくる海老名型のコミュニティスクール(おらが学校)」の一環として位置付け、地域とのつながりを基盤とした学校ごとの包括的な事業形態による実施を進めていきます。この事業の一部として、放課後に子どもたちの学習を支援する「まなびっ子クラブ」をあそびっ子クラブと同時時間帯に実施し、放課後の過ごし方のさらなる充実を図っていきます。また、地域の大人が見守ることで子どもたちが安全・安心に遊べる環境を引き続き安定的に確保するとともに、現在行っている工作指導やスポーツ指導員の派遣をはじめとして子どもたちが様々な遊びを体験できるよう、活動内容の充実に取り組めます。	参加人数	66,570	68,851	・各小学校ごとに設置する「学校応援団」の取り組みとしてあそびっ子クラブを実施。 ・新たに、地域の大人等により子供の自学自習を見守る学びの場として「まなびっ子クラブ」を開始。あそびっ子クラブと同時時間帯に週1回程度開催。	・子どもが安心して放課後を過ごせる場のさらなる充実を図る。	開設のべ日数	2,000	2,000	2,000	2,000	学び支援課
106	学童保育とあそびっ子クラブ	子どもたちが放課後を過ごす場である放課後子ども教室(海老名市におけるあそびっ子クラブ)と学童保育について、一体的(=学校内で両方を実施しており、放課後子ども教室が実施する共通のプログラムに学童保育に通う児童が参加できる状況)または連携(=放課後子ども教室か学童保育のいずれかを学校外で実施しており、放課後子ども教室が実施する共通のプログラムに学童保育に通う児童が参加できる状況)による実施が、全国的に求められています。 海老名市では、学校内外といった施設の場所に関わらずどの学童保育に通う児童も希望すれば各校のあそびっ子クラブに参加することが可能であり、小学校全13校のうち4校で一体的な実施、9校で連携による実施に近い状態が実現されているものと考えています。 今後は、全校において児童の参加体制や学童保育指導員の関わり方等について検討を行い、学童保育とあそびっ子クラブの連携がさらに強化され一体的な実施がされるよう目指します。	数値目標なし			・校内学童保育についてはあそびっ子クラブと必要に応じた連絡調整を行いながら円滑な子どもの参加が図られている。 ・校外の学童保育についても希望者は自由にあそびっ子クラブへ参加可能な体制が整えられている。	・学童保育の支援員とあそびっ子クラブのパートナー間の連携強化により、さらに充実した放課後の子どもの居場所づくりを目指す。	数値目標なし	数値目標なし			学び支援課	
106	余裕教室の活用	海老名市内の小中学校における余裕教室は、少数にとどまる状況が続いています。海老名市の人口は緩やかに増加を続けており、今後しばらくの間は減少へ転じる見込みはないものと思われることから、余裕教室数も少ない傾向が続くと予想されます。しかしながら、放課後の利用が少ない特別教室等については、あそびっ子クラブ等で一時的に利用することでさらなる有効活用の可能性が考えられるため、各学校及びあそびっ子クラブと調整を図っていきます。	数値目標なし			・学校施設所管課と情報交換を行い、学童保育施設としての空き教室の有効活用を検討したが、恒常的な空き教室は発生しなかった。	・学童保育施設としての教室の有効活用について引き続き検討を行う。	数値目標なし	数値目標なし			教育総務課 学び支援課	

基本目標 4 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

基本施策 (1)母と子の健康の保持増進

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
108	妊婦健康診査	海老名市在住の妊婦を対象に、安心して出産ができるよう、妊婦の健康管理とともに、新生児の疾病や異常の早期発見の機会となるよう、妊婦健康診査を実施しています。今後も、神奈川県産婦人科医会に委託し、県内の産科等医療機関を妊婦が受診、健診を受けた際の費用の一部を補助します。	受診者数	12,471	12,938 (見込み)	神奈川県産婦人科医会と契約締結し、妊婦の受診・健診の際の費用補助を行った。また、補助券を使用できない医療機関等に受診した際には、後日申請があれば償還払いを行っている。	引き続き、安心して妊娠・出産できるよう費用面で支援していきます。	利用可能人数	16,000	16,000	16,500	16,500	健康づくり課
108	乳幼児健康診査	子どもの病気や発育・発達の進み方など、健康状態を定期的に確認するものです。海老名市では、対象となる子どもが、4か月、8か月、1歳6か月、2歳、3歳6か月の時期に、乳幼児健康診査を行っています。歯科健診については、対象となる子どもが、1歳6か月、2歳の時期に実施しています。乳幼児健康診査では、子どもの健康のほか、育児に関する相談等も行っており、今後もこれらを継続して取り組み、母子の心身の健康の増進を図っていきます。	受診者数	4か月 1,079人、8か月 1,038人、1歳6か月 1,059人、1歳6か月 1,018人、2歳 1,030	4か月 1,057人、8か月 1,050人、1歳6か月 1,118人、1歳6か月 1,118人、2歳 1,130	発育、発達の確認をし、心身両面の適切な保健指導を行うとともに、児の成長、発達を促すための育児支援をする。	引き続き、乳幼児健康診査では、子どもの健康のほか、育児に関する相談等に取り組み、未受診者への受診勧奨に努め母子の心身の健康の増進を図っていきます。	数値目標なし	数値目標なし				健康づくり課
108	妊産婦・新生児訪問指導(こんには赤ちゃん事業)	海老名市では、市の保健師、栄養士からのアドバイス等を希望する妊産婦と新生児、乳幼児とその保護者を対象に訪問指導を行っています。親子の健康や子どもの発育、育児に関することなどの相談に対し、アドバイス等を行うとともに、健康診査の事後指導も行っています。また、新生児については、保健師及び委託した助産師が、全てのお宅を回る訪問指導も実施しています。今後も、母子の健康増進に向け、訪問指導を継続して取り組みます。	訪問件数	1963件	1488件 (見込み)	よりハイリスクなケースには地区担当保健師が訪問し、リスクのない(低い)妊産婦、新生児乳児には委託助産師が訪問するのが最善ではあるが、委託件数の関係もあり、すべてがそのようにはいかな面もあった。	ハイリスクではない母子に対する訪問指導は助産師が行い、ハイリスクな母子に対しては母子保健コーディネーター、よりハイリスクや処遇困難ケースには地区担当保健師が訪問するよう、訪問者の選定を必要に応じてこれまで以上に明確に行う。	訪問件数	1,200	1,200	1,200	1,200	健康づくり課
108	地域育児相談	子育て支援のひとつとして、育児に関する親と子の心身の健康、子どもの発育・発達面での相談などを実施しており、子育てなどの情報交換の場、地域での仲間づくりの場などの機会になっており、今後も継続していきます。	数値目標なし	/		専門職が一同に会し、気軽に相談できる場であり子育ての情報交換や仲間づくりの場となっている。又、新生児訪問後の継続フォローの場もなっている。	引き続き育児支援に対応していきたい。	数値目標なし	数値目標なし				健康づくり課

基本施策

(2)食育の推進

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
110	離乳食講習会	離乳食は、乳児が幼児の食事形態に移行する準備段階にあたり、この時期に食生活の基礎が育まれます。幼児期にみられる偏食の予防にもつながります。現在、赤ちゃんの発育や発達に合わせ、離乳食をはじめのタイミング、つくり方や量、味付けなど、具体的な進め方を学び、調理の実演を通して、講習会参加者にアドバイスをを行っています。今後も継続して講習会を開催し、支援します。	講習会開催回数	18	18	望ましい食習慣を獲得するために、2回食・3回食の各期に分け、それぞれの期に合った形態、進め方、注意点等の知識を普及しています。また、保護者への試食を通して、味つけや固さ、大きさなどを体験してもらえよう工夫しています。	参加者の評価は好評のため、継続します。	講習会開催回数	18	18	18	18	健康づくり課
110	両親教室	妊娠から出産にかけては、食生活を含めた健康管理が重要となります。母親が丈夫な赤ちゃんを産み、生まれた子どもが健やかに育つための食事、さらには、家族が生涯、健康であるための食生活と健康管理を支援するため、両親教室を継続していきます。	講習会開催回数	6	6	食生活、歯の衛生、妊娠中の過ごし方、出産後の育児など妊娠から出産・育児について子どもが健やかに生まれ、育つための知識の普及をしています。また、実技を通して育児をするという実感を持てるように工夫しております。	教室全体を通して参加者の評価は好評のため継続します。	講習会開催回数	6	6	6	6	健康づくり課
110	幼児むし歯予防教室	乳幼児期は、基本的な歯の健康づくりに身に付ける重要な時期となります。生涯にわたって歯の健康が身に付くよう、歯磨き指導を通して、幼児の虫歯予防や望ましい食事、おやつとの与え方について学び、健全な発育が図れるよう、今後も継続して取り組みます。	教室開催回数	6	6	歯科医師と歯科衛生士による、むし歯の原因や予防、歯磨きの仕方やポイントについてのお話と、普段使っている歯ブラシを持参してもらい、歯磨き実地指導を行っています。	引き続き乳幼児期のお口の健康増進を図るため継続します。	教室開催回数	6	6	6	6	健康づくり課
110	私立幼稚園給食運営事業	幼稚園での食育の充実に向け、学校給食等を調理している海老名市食の創造館から市内幼稚園に給食を提供し、食育を実施するとともに、園児の健康管理を図り、学校給食に慣れる機会をつくります。	実施園数	4	6	旭たちばな幼稚園及び慶泉幼稚園にて幼稚園給食の実施を開始した。	継続して幼稚園給食運営事業を円滑に実施していく。	実施園数	6	6	6	6	子育て支援課

基本目標 5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

基本施策 (1)仕事と子育ての両立の推進

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課	
111	両立支援の情報の広報等	海老名市に住む子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援するため、育児・介護休業制度等も含めた関係法制度等の広報・啓発、情報提供等を行います。	数値目標なし			女性のためのエンパワーメント講座の中で、育児休業を取得した講師の話聞き、取得のメリットを伝えてもらった。カジダン・イクメン・イクジイ写真展を開催し、男性の家事・育児参加を啓発した。	育児休業取得者の体験談を男性にも聞いてほしいと講座参加者から要望があったため、男性向けの講座も実施していく。	数値目標なし					数値目標なし	市民活動推進課
111	「かながわ子育て応援団」の推奨	「かながわ子育て応援団」は、神奈川県子ども・子育て支援推進条例に定められたもので、県が定める基準を満たし、仕事と子育ての両立に取り組む事業者に対して、「認証」する制度で、この取り組みを市内の事業者推奨します。	数値目標なし			男女共同参画推進員と、市内で認証を取得し、子育て中の女性が働きやすい取り組みをしている事業所である社会福祉法人中心会を訪問。その取り組みを情報紙に掲載し、商工会議所の会員企業と自治会に配布した。	市内では「かながわ子育て応援団」の認証を受けている事業所は少なく、継続して取得事業所の取り組みを啓発していきたい。	数値目標なし					数値目標なし	市民活動推進課

基本目標

6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進

基本施策

(1) 児童虐待防止対策の充実

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
113	子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	児童虐待の防止のため、海老名市では「子どもを守るネットワーク協議会」を設置しています。協議会は、児童相談所、保健所、警察、主任児童委員、幼稚園、保育園、小中学校、病院などの各機関の代表者で検討を行う連絡会議、各機関の担当者が要保護児童等に対して検討を行うケース検討会議を行っています。また、必要に応じ個別に対応するサポートチームを編成し、個々の虐待等に対応するためのケース会議を行い、訪問、面接等の支援を行っています。	数値目標なし			①子どもを守るネットワーク協議会(要保護児童対策協議会):代表者会議1回、就学前実務者会議6回、就学児実務者会議2回、児童相談所との実務者会議を12回開催した。 ②幼稚園、保育園、小中学校へリーフレット配布により児童虐待防止のPRをした。 ③虐待を発見した時のフローチャートを作成し、市内幼稚園・保育園・小中学校を周り、施設長へ説明を行った。	虐待を発見した時の流れを各機関職員全員に理解してもらう為、自作の紙芝居を作成後、市内幼稚園、保育園を巡回しPRに努める。	数値目標なし					子育て支援課
113	「子ども相談」窓口の充実事業	親または親に代わる保護者による子どもへの身体的、精神的等の虐待は、子どもの心身の成長、人格の形成に重大な影響を与えます。子どもの人権侵害にあたる児童虐待を早期に防ぐため、相談員2名を配置し、子どもの相談窓口の充実を図ります。	電話相談件数	1,120	725	①虐待通告等により子ども相談員2名と職員2名は、虐待の通告を受けた場合、48時間以内に子どもの安全確認をし、面接・家庭訪問を行い、関係機関と連携をし、子どもの安全確認、育成に努めた。 H27年度 新規受理件数: 虐待77件 その他45件 電話相談725件 児童相談所送致件数2件 ②子どものしつけ講座の”いっぽ”講座を3講座(1講座7回コース)と概略版(2時間講座)を2回実施したことにより、保護者が怒鳴ったり、叩いたりするしつけを回避することが出来た。	子どものしつけ講座の”いっぽ”講座について、引き続き実施して講座を定着させる。	数値目標なし					子育て支援課
113	養育支援訪問事業	児童虐待の予防のため、海老名市では平成24年度から開始しています。育児支援が必要な家庭に保健師等が定期的に訪問し、子どもへの育児状況等を把握し、子どもの保護者にあった支援を検討し、実施するものです。今後も継続して取り組みます。	来庁相談件数	127	111	18件の家庭が利用し、家事支援員・保育士・看護師・保健師を派遣している。養育状況を把握し家庭にあった支援を検討し実施しています。	養育状況等を把握し、子どもの保護者への支援を、継続して取り組みます。	利用可能人数	20	20	20	20	健康づくり課

基本施策

(2) 母子家庭等の自立支援の推進

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
114	ひとり親家庭等医療費助成事業	現在、海老名市では、18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭(母子家庭、父子家庭、養育者家庭、父または母に一定の障害のある家庭)を対象に、保健診療の自己負担分の医療費を助成しています。ひとり親家庭の生活の安定と自立を支援するため、今後も取り組みます。	対象者数	1,900	1,938	保険診療の自己負担分の医療費を助成し、ひとり親家庭の生活の安定と自立の支援を図りました。	引き続きひとり親家庭の生活の安定と自立を支援するため、今後も取り組みます。	数値目標なし	数値目標なし			子育て支援課	
114	児童扶養手当	18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭を対象に、手当を支給します。所得等に制限があり、支給者等の前年所得が限度額以上である場合には支給されない等の制限があります。海老名市では、今後も継続して、ひとり親家庭の生活の安定や自立を支援するため取り組みます。	受給者数	773	750 (見込)	児童扶養手当受給者に対し、3回(4月、8月、12月)手当の支給を行いました。	平成28年8月分以降から第2子及び第3子以降の手当て加算額を変更予定。 第2子 5,000円～10,000円 第3子以降 3,000円～6,000円	数値目標なし	数値目標なし			子育て支援課	
115	相談窓口の設置	ひとり親家庭で子を養育する母親は、悩みを抱えやすい状況にあります。現在、ひとりで悩みを抱え込まないよう、母子・父子自立支援員等を配置した相談窓口業務を行っています。今後も、相談等への対応、自立に必要な情報提供等を行い、相談窓口の充実を図ります。	相談件数	840	869	ひとり親家庭の様々な相談に応じ、職業能力の向上や求職活動に関する情報提供など、自立に必要な支援を行いました。	必要な情報提供を行うとともに、関連機関と連携しながら包括的に支援を行います。	数値目標なし	数値目標なし			子育て支援課	

基本施策

(3)障がい児施策の充実

掲載頁	事業名	事業の説明	実績指標	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度実施状況	次年度以降に向けた改善点等	目標指標	平成28年度目標値	平成29年度目標値	平成30年度目標値	平成31年度目標値	所管課
116	療育相談の推進	健康診査等の結果により、発達の遅れや心身の発達に何らかの問題がみられる子どもの療育相談を、わかば学園にて行っています。今後も、発達に心配のある子どもとその家族が、安心して地域生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関連機関と連携しながら相談に応じます。	相談者数	960	1,113	わかば学園に臨床心理士等の専門職員を配置し、他の療育機関・事業所と密接な連携を保ちながら海老名市の子ども療育の入口として療育相談を実施している。	発達相談・療育支援に対する関心の高まりにあわせて、療育相談の希望者が大幅に増えている。相談申込から初回相談までの待ち時間の短縮を図っていく。	数値目標なし	数値目標なし			障がい福祉課	
116	通園療育の推進	海老名市では、学齢前及び学齢期の心身障がい児に対して、基本的な生活訓練や機能訓練等をわかば学園にて実施しています(児童福祉法による障がい児通所支援)。今後も継続して取り組み、心身の成長、発達の促進を図ります	利用者数	4,385	4,451	平成27年10月より、わかば学園が児童発達支援センターへ移行。給食・送迎の提供のほか、スヌーズレンを利用した療育も行っている。また、隔月で保護者のピアカウンセリングも開始。	市内で療育を提供する事業所が増え、療育希望者の利便性は向上した。今後は、各療育機関の連携をより深め、個別ケースの情報や困難事例の共有を図り、市内事業所の療育の質を高めていく。	数値目標なし	数値目標なし			障がい福祉課	
116	統合保育の推進	市内幼稚園、保育所に通う発達に心配のある子どもに適切な対応ができるように、わかば学園から臨床心理士等の専門家を派遣し、保育士及び幼稚園教諭に適切な療育のための指導・助言を行っています。統合保育の推進を図るため、今後も継続して行っていきます。	出張相談箇所数	21	32	幼稚園・保育園に加えて小学校や養護学校にも出張先を拡大。発達に気がかりのある子どもが地域生活を送りやすくするため、各機関からの要請に応じて広く相談・助言を行っている。	事業に対する認識が広まり、多くの保育・教育機関から相談の希望がある。今後も、個別ケースへの対応のみならず療育全般への理解を深めていく。	数値目標なし	数値目標なし			障がい福祉課	
			出張相談回数	206	214			数値目標なし	数値目標なし				
116	特別支援教育の充実	海老名市では、全小学校・中学校に補助指導員を配置し、対象の子どもに応じた介助員の配置等を行っています。特別な支援を必要とする児童・生徒が、安心して充実した学校生活を送れるよう、今後も継続し、支援体制の整備・充実を図ります。	数値目標なし	/		補助指導員を各校1人配置した。介助員は対象児童生徒数の増加に応じて、前年度より6名増やした。	各学校の状況等を十分に把握した上で、補助指導員・介助員等の配置を行い、支援を必要とする児童生徒が安心して学べるよう支援体制の充実を図る。	数値目標なし	数値目標なし			教育支援課	
116	特別支援教育の就学奨励	特別支援学校、小学校・中学校の特別支援学級等に在席する児童・生徒の保護者が負担する教育関係経費を、家庭の経済状況等に応じて補助を行っています。対象となる経費は、通学費、給食費、教科書費、学用品費、修学旅行費などです。国の基準に基づいた認定・給付を、今後も継続して行います。	数値目標なし	/		特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を行った。	今後も、国の基準に基づいた認定・給付を継続して行う。	数値目標なし	数値目標なし			教育支援課	

平成 2 7 年度
事業 報 告 書



海老名市立子育て支援センター

平成27年度子育て支援センター事業報告

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など子どもや子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、子育て支援センターでは、家庭や地域における子育て機能の向上を図るとともに、子育てしている親の孤独感や不安感を解消するため、親子で楽しく遊ぶことができる場として広場やサロンを実施しました。

この広場やサロンでは、子どもの発育やしつけ、食事などの相談を受け、必要に応じて助言を行いました。

また、子育てに関するさまざまな講座を開催するほか、自主的に活動しているサークルを支援しました。

さらに、子育てと仕事の両立を支援するファミリー・サポート・センターや病気の回復期の子どもを一時的に預かる病後児保育を実施しました。

平成27年度は、孤立しがちな親子にやさしく寄り添うことを心がけ、親子が気軽に利用できるよう環境づくりに努めました。

新規事業としては、初めて子育て支援センターを利用する親向けに「ビギナーサロン」を実施しました。

また、子育て講座で、新規講座として、親子で楽しく運動することができる「3B体操」、子育てと仕事の両立をテーマにした「ワーキングママの準備講座」を開催しました。

平成27年度の利用状況は次のとおりになりましたが、4月から9月まで事業の一部を縮小したことから、全体の利用者数は減少しました。

事 業 概 要

番号	事 業 名	概 要
1	育児相談	電話や来所により相談を受け、必要に応じて助言、指導を行った。
2	すくすく広場	広いスペースを利用して親子で自由に遊ぶことができる広場として実施した。
3	おやこプレイルーム	親子でゆったり過ごすふれあいスペース、いつでも自由に遊ぶことができる場として実施した。
4	年齢別サロン	同じ月齢の子ども同士が自由に遊ぶことができ、親同士の交流を深める場として実施した。
5	移動サロン	親子が身近な場所で交流を深めることができるようコミセンや文化センターなどを会場として実施した。民生委員や主任児童委員等と連携を図った。
6	ビギナーサロン	利用の仕方がわからない、顔見知り同士の輪の中に入るのが不安な方を対象とした遊びの場
7	すくすく祭り	子どもがさまざまなゲームや催物を楽しみ、互いにふれあう場として開催した。
8	消防署見学	子どもが好きな消防車を見学し、家族で防災知識を深める機会として開催した。
9	子育て講座	子育てに必要な知識を学ぶとともに、親のストレスを解消する機会として開催した。
10	サークル支援	サークル活動を支援するため、施設の一部を開放するとともに、絵本やCDなどを貸し出した。
11	ファミリー・サポート・センター	子どもを預けたい人と預かる人をコーディネートし、仕事と子育ての両立を支援した。
12	病後児保育	病気やケガの回復期にある子どもを一時的に預かり子育て家庭を支援した。

1 育児相談

内容：安心して子育てができるよう、電話や来所などにより育児に関する不安や悩みの相談を受け、必要に応じて助言を行いました。

場所：子育て支援センター

受付：月曜日～土曜日 8：30～16：30

平成27年度の相談件数は、2,230件となりました。そのうち2,063件がサロンや広場で相談を受けました。

相談内容では、「子どもの食事・発育等」が1,014件と最も多く、次に「子どもの言葉・行動・しつけ等」の772件、「保護者の友達・健康等」の229件となりました。

年度別相談件数 (件)

年 度	電 話	来 所	サロン・広場	計
平成23年度	328	18	225	571
平成24年度	345	20	1,260	1,625
平成25年度	82	15	2,098	2,195
平成26年度	134	30	2,447	2,611
平成27年度	145	22	2,063	2,230

※ 平成25年度以降の電話相談では、簡易な問合せを集計から除いています。

年度別相談内容 (件)

年 度	子どもの食事・発育等	子どもの言葉・行動・しつけ	子どもの友達・保育園等	保護者の友達・健康等	計
平成23年度	219	104	19	229	571
平成24年度	837	425	188	175	1,625
平成25年度	968	594	257	131	1,950
平成26年度	1,304	904	225	178	2,611
平成27年度	1,014	772	215	229	2,230

2 すくすく広場

内容：異年齢の子ども同士が遊びを通して感性を育むとともに、親同士の交流を深め育児不安を解消するため、広いスペースで親子が自由に遊ぶことができる場を提供しました。

場所：保健相談センター 健康増進室

回数：月3回～10回 時間：9:00～11:30 13:00～16:00

平成27年度のすくすく広場は、96回実施し、8,722人の利用がありました。前年度に比べると、100人以上増えており、1回当りの利用者数は、90人になり、前年度の76人を大きく上回りました。

対前年度比較

(人)

年 度	回数	利 用 者 数			利用者数／回数
		大人	子ども	計	
平成26年度	112	4,202	4,401	8,603	76
平成27年度	96	4,034	4,688	8,722	90

年度別利用状況

(人)

年 度	平 日				土 曜 日				計
	回 数	大人	うち父親	子ども	回 数	大人	うち父親	子ども	
平成23年度	71	1,447	17	1,734	32	860	167	991	5,032
平成24年度	38	1,233	15	1,479	24	969	163	1,051	4,732
平成25年度	51	1,986	22	2,174	23	1,076	260	1,073	6,309
平成26年度	88	3,307	28	3,503	24	895	164	898	8,603
平成27年度	74	3,423	36	4,001	19	611	99	687	8,722

3 おやこプレイルーム

内容：ゆったりとしたプレイルームで親子一緒に遊びながら、親子の絆を深める機会としました。

場所：保健相談センター おやこプレイルーム

時間：月曜日～金曜日 9:00～11:30 13:00～16:00

土曜日 9:00～11:30

平成27年度のおやこプレイルームは、431回実施し、10,669人の利用者がありました。昨年度に比べ約1,000人増え、1回当たりの利用者数は、24人となりました。

対前年度比較

(人)

年 度	回数	利 用 者 数			利用者数／回数
		大人	子ども	計	
平成26年度	405	4,521	5,087	9,608	23
平成27年度	431	5,032	5,637	10,669	24

年度別利用状況

(人)

年 度	大 人	子 ども	計
平成23年度	2,353	2,873	5,226
平成24年度	4,192	4,929	9,121
平成25年度	4,654	5,322	9,976
平成26年度	4,521	5,087	9,608
平成27年度	5,032	5,637	10,669

4 年齢別サロン

内容：同じ年頃の子どもが集まり子ども同士が互いにふれあう場を提供するとともに、共通の悩みを抱える親同士の交流を深める場としました。

場所：保健相談センター 健康増進室

回数：月2回～4回 時間：9:00～11:30 13:00～16:00

子どもの月齢を「1～5か月児」、「6～11か月児」、「1歳児」、「2歳児以上」の4つに分けて実施しました。

平成27年度は、42回実施し、2,669人の親子が利用しました。利用者数は昨年度に比べ減少しましたが、特に、1歳児を対象としたサロンの利用者数が多く減り、次いで6～11か月児を対象としたサロンの利用者数が減りました。

対前年度比較

(人)

年 度	回数	利 用 者 数			利用者数／回数
		大人	子ども	計	
平成26年度	47	1,596	1,610	3,206	68
平成27年度	42	1,296	1,373	2,669	63

年度別利用状況

(人)

年 度	1～5か月児		6～11か月児		1歳児		2歳児以上		大人計	子ども計	合計
	大人	子ども	大人	子ども	大人	子ども	大人	子ども			
平成23年度	819	845	1,154	1,242	1,065	1,168	835	1,048	3,873	4,303	8,176
平成24年度	1,023	1,027	1,131	1,162	1,118	1,156	612	812	3,884	4,157	8,041
平成25年度	1,051	1,026	981	986	953	972	613	760	3,598	3,744	7,342
平成26年度	348	357	472	473	510	514	266	266	1,596	1,610	3,206
平成27年度	316	300	374	373	344	346	262	354	1,296	1,373	2,669

5 移動サロン

内容：親子が地域の身近な場所で遊ぶことができるとともに、親同士の交流を深めることを目的に実施しました。

場所：コミュニティセンター、文化センター、自治会館、北部体育館 12カ所

回数：月6～12回 時間：9:45～11:30

平成27年度の移動サロンは、12カ所で113回実施し、3,410人の親子が利用しました。また、1回当たりの利用者は、30人になりました。

実施にあたっては、地域で子育て家庭を支えるため、民生委員、主任児童委員、ボランティアと協力して実施しました。

対前年度比較

(人)

年 度	回数	利 用 者 数				利用者数／回数
		大人	子ども	民生委員等	計	
平成26年度	138	2,172	2,378	418	4,968	33
平成27年度	113	1,467	1,625	318	3,410	27

年度別利用状況

(人)

年 度	大人	子ども	民生・児童委員	ボランティア	計
平成23年度	2,257	2,581	354	39	5,231
平成24年度	2,590	3,002	376	49	6,017
平成25年度	2,216	2,547	341	52	5,156
平成26年度	2,172	2,378	370	48	4,968
平成27年度	1,467	1,625	279	39	3,410

会場別利用状況

(人)

年 度	柏ヶ谷	大谷	中新田	上今泉	国分	杉久保	門沢橋	本郷	社家	下今泉	国分寺台	河原口	北部	計
平成23年度	707	343	157	711	664	409	342	208	302	285	313	446	344	5,231
平成24年度	905	280	386	550	601	572	443	166	359	484	368	468	435	6,017
平成25年度	531	402	419	126	798	541	465	—	443	297	311	449	374	5,156
平成26年度	567	302	361	702	545	299	430	—	370	365	243	408	376	4,968
平成27年度	340	232	249	347	394	193	289	—	303	266	200	344	253	3,410

6 ビギナーサロン（新規）

内容：人の輪の中に入ることが苦手な親、まだ子育て支援センターを利用したことがない親を対象に実施しました。

場所：子育て支援センター プレイルーム

時間：10:00～11:00

ビギナーサロンは、27年度に初めて実施したサロンです。2月と3月に1回ずつ実施しました。利用人数は、合計で43人となりました。

利用状況

(人)

年 度	回数	利 用 人 数		
		大人	子ども	計
平成27年度	2	21	22	43

7 すくすく祭り

内容：さまざまなゲームや催しを通して子どもと家族と一緒に楽しみ、ふれあうことができる機会として開催しました。

日時：平成27年9月12日（土）9:00～11:30

場所：保健相談センター3F

子ども達の遊びの場として、ヨーヨーすくい、さかなつり、腕輪づくり、折り紙などを行いました。同時に親向けに骨密度や肩こりの測定を行いました。

平成27年度は、583人が参加しました。

年度別参加状況

(人)

年 度	大人	子ども	計
平成24年度	206	262	468
平成25年度	270	235	505
平成26年度	389	303	692
平成27年度	318	265	583

8 消防署見学

内容：家族の絆を深めるとともに、防火防災意識の向上に寄与するため実施しました。

日時：平成27年4月18日（土）9:30～11:45

場所：海老名市消防署

見学は、子どもとその家族を対象とし、1回目40組、2回目40組に分けて実施しました。子ども達に人気の消防車両と通信施設を含めた消防署内の見学をしました。

平成27年度は、200人が参加しました。

年度別参加状況

(人)

年 度	回数	大 人	子 ども	計
平成23年度	1	83	70	153
平成24年度	2	233	260	493
平成25年度	2	230	216	446
平成26年度	1	97	81	178
平成27年度	1	102	98	200

9 子育て講座

内容：子育てに必要な知識や情報を学ぶとともに、親の健康を増進する機会として実施しました。

場所：保健相談センター 健康増進室

時間：9:00～11:30 13:00～16:00

新規講座として「3B体操」と「ワーキングママへの準備講座」を開催しました。

「3B体操」は、2歳以上の子どもが音に合わせて親と一緒に体を動かし、親子の絆を深める機会を提供しました。

「ワーキングママへの準備講座」は、ハローワークと連携し、子育てと仕事の両立を学習する機会を提供しました。

27年度は、新規講座を含めて8講座を開催しました。述べ13回の開催で704人の親子が参加しました。

年度別参加人数

(人)

年 度	回 数	参 加 人 数		
		大人	子ども	計
平成23年度	24	1,219	1,248	2,467
平成24年度	15	1,005	1,026	2,031
平成25年度	20	1,198	1,189	2,387
平成26年度	21	868	850	1,718
平成27年度	13	362	342	704

子育て講座一覧

(人)

講座名	対象 (子どもの月齢)	内容	回数	参加人数			
				大人	うち父親	子ども	計
赤ちゃん体操	3～6か月児	赤ちゃんの手足を動かしてスキンシップと感覚を向上させる。	2	72	3	70	142
ベビーサイン	3～6か月児	発語する前の子どもとのコミュニケーション手段として体験する。	2	82	3	80	162
ヨガストレッチ	3～6か月児	育児をしながらでもできるヨガストレッチを体験する。	2	71	0	71	142
ベビーダンス	5～13か月児	親が楽しく体を動かし、育児のストレスの解消を図る。	2	46	0	46	92
幼児安全法	8か月～1歳児	子どものケガや急な病気に備えて、救急措置が行えるよう必要な知識を学ぶ。	2	34	2	18	52
3B体操	1才児	ボールなど使って音楽に合わせて動き、遊び感覚で体を動かす。	1	21	0	21	42
パパとたいそう	2才児以上	体を使った遊びを通して父親と子どもが楽しくふれあう。	1	21	21	21	42
ワーキングママの準備講座	年齢制限なし	ハローワークの求人情報や再就職に有利な資格など育児と仕事の両立方法について学ぶ	1	15	0	15	30
計			13	362	29	342	704

10 サークル支援

内容：仲間同士で楽しく子育てすることができるようサークル活動を支援しました。主に施設や絵本、CDなどの貸し出しを行いました。

施設利用：1サークル当月1回（登録したサークル）、90分程度

平成27年度の登録サークルは42サークルとなりました。会員数は、389人となり、1サークル当りの会員数は9人になりました。

新規サークルは10サークルで、解散したのは9サークルでした。

また、施設（サークルルーム）を利用したのは、31サークルとなり、3,148人の親子が利用しました。

年度別サークル登録数、会員数 (人)

年 度	サークル			会員数（大人）	会員数／登録サークル数
	登録数	うち新規	解散数		
平成23年度	40	9	19	259	6
平成24年度	44	8	4	325	7
平成25年度	38	10	16	304	8
平成26年度	41	8	5	344	8
平成27年度	42	10	9	389	9

年度別サークルルーム利用者数 (人)

年 度	サークル数	大 人	子 ども	計
平成23年度	26	1,395	1,622	3,017
平成24年度	34	1,765	2,169	3,934
平成25年度	27	1,860	2,299	4,159
平成26年度	31	2,067	2,333	4,400
平成27年度	31	1,476	1,672	3,148

11 ファミリー・サポート・センター

内容：地域の人同士が互いに子育てを支え合うことができるよう支援することを目的に実施しました。

受付：月曜日～土曜日 8:30～17:15

子育ての援助を受けたい人（利用会員）と援助を行いたい人（援助会員）が互いに協力して子育てを支援する有償のボランティア制度です。

平成27年度末現在の会員数は、利用会員869人、援助会員111人、両方会員41人の合計1,021人になりました。

活動件数は、2,408件となり、最も多いのは、「保育園、幼稚園の送迎、預かり」が1,389件、次いで「学童保育の送迎、預かり」が525件となりました。

年度別会員数

(人)

年 度	利用会員	援助会員	両方会員	計
平成23年度	365	104	25	494
平成24年度	558	121	29	708
平成25年度	695	108	34	837
平成26年度	783	113	43	939
平成27年度	869	111	41	1,021

年度別活動件数

(件)

年 度	保育園・幼稚園の送迎・預かり	学童保育の送迎・預かり	塾・習い事の送迎	保護者の外出	保護者の短時間就労など	保護者の病気や用事など	その他	計
平成23年度	1,774	132	238	23	9	13	247	2,436
平成24年度	1,786	512	230	55	13	49	242	2,887
平成25年度	1,934	481	250	33	12	116	291	3,117
平成26年度	1,874	460	248	107	11	13	240	2,953
平成27年度	1,389	525	222	61	16	27	168	2,408

12 病後児保育

内容：病気の回復期やケガなどの子どもを一時的に預かることにより子育てと仕事の両立を支援すると同時に、子どもの健全な発達を促すことを目的に実施しました。

場所：子育て支援センター 病後児保育室

時間：月曜日～土曜日 8:30～17:00 定員：2名

平成27年度は、延べ70人の子どもが利用しました。利用した子どもの年齢は、1歳児が23人と最も多く、次に2歳児22人、3歳児19人の順になりました。

年度別登録者数等

年 度	利用日数	利用人数	予約人数	予約取消人数
平成23年度	62	62	155	93
平成24年度	62	68	175	107
平成25年度	70	78	202	124
平成26年度	90	114	285	171
平成27年度	63	70	188	118

年齢別利用状況 (人)

年 齢	児童数
0歳	2
1歳	23
2歳	22
3歳	19
4歳	1
5歳	1
6歳	2
7歳	0
8歳	0
9歳	0
計	70

病名別利用状況 (人)

病 名	児童数
感冒・感冒様症候群	33
咽頭炎	4
扁桃腺炎	0
気管支炎	8
喘息・喘息性気管支炎	6
感冒性胃腸炎	7
中耳炎	0
その他	15

※病名は複数の場合があります。

1 3 年間利用者数

平成27年度の年間利用者数は、34,839人になりました。

事業ごとの利用者数を見ると、すくすく広場とおやこプレイルームは前年度に比べ増加しましたが、その他の事業は減少しました。

特に、子育て講座については、年度の後半から開催したことから減少しました。

一方、年齢別サロンと移動サロンは、利用者が減少しましたが、これは、4月から7月まで一部事業を縮小したので実施回数が減ったことによるものです。

年度別利用数

(人)

年 度	相 談 数	すくすく 広 場	おやこプレ イルーム	年 齢 別 サ ロ ン	移 動 サ ロ ン	ビギナー サ ロ ン	すくすく 祭 り
平成23年度	571	5,032	5,226	8,176	5,231	—	—
平成24年度	1,625	4,732	9,121	8,041	6,017	—	468
平成25年度	2,195	6,309	9,976	7,342	5,156	—	505
平成26年度	2,611	8,603	9,608	3,206	4,968	—	692
平成27年度	2,230	8,722	10,669	2,669	3,410	43	583

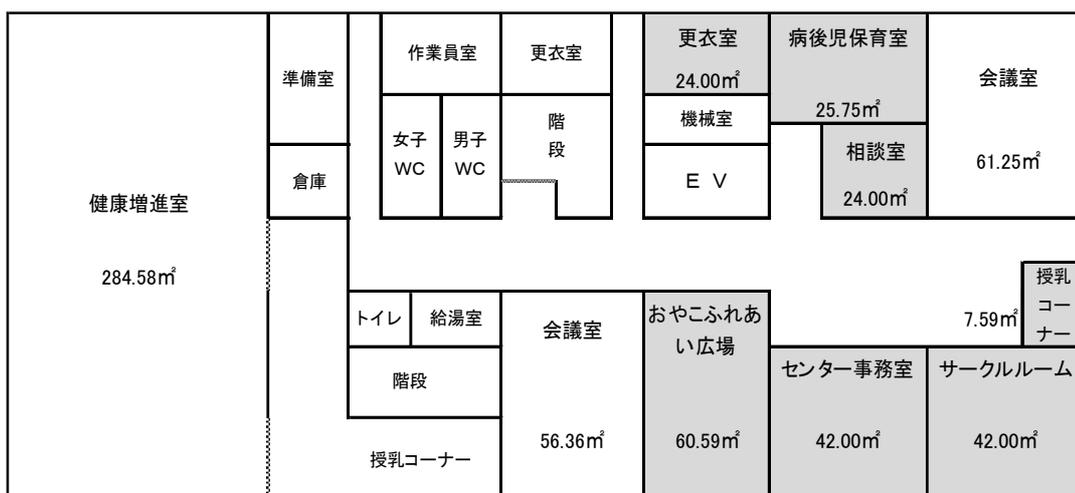
年 度	消防署 見 学	子 育 て 講 座	サークル ル ーム	小 計	ファミサポ 活動件数	病後児 保 育	合 計
平成23年度	153	2,467	3,017	29,873	2,436	62	32,371
平成24年度	493	2,031	3,934	36,462	2,887	68	39,417
平成25年度	446	2,387	4,159	38,475	3,117	78	41,670
平成26年度	178	1,718	4,400	35,984	2,965	114	39,063
平成27年度	200	704	3,148	32,378	2,408	70	34,856

1 4 参考資料

(1) 子育て支援センターの概要

名 称	海老名市立子育て支援センター
所在地	海老名市中新田377番地 保健相談センター3F
設置日	平成10年4月（海老名市立中新田保育園内）
開所時間	午前8時30分～午後5時15分
休日	日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
利用料	無料（ファミリー・サポート・センターは除く）
対象者	未就学児とその保護者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 子育てに関する相談 (2) 子育てサークル等の育成、支援 (3) 子育てに関する情報提供 (4) 市内保育所の支援 (5) ファミリー・サポート・センターに関する事業 (6) 病後児保育に関する事業 (7) その他センターの設置目的達成のために必要な事業
施設面積	225.93㎡（述べ床面積）

施設配置図



(2) 子育て支援センターの沿革

年 月	沿 革
平成10年 4月	子育て支援センターを市立中新田保育園内に設置
同 4月	子育て相談、すくすくサロン、すくすく講座の開始
平成11年 4月	移動サロン（コミセン9、保健相談センター）開始
同 4月	野外サロン、土曜サロン開始
平成12年 4月	移動サロン（河原口自治会館）開始
同 4月	すくすくサロンを保健相談センターで実施
同 4月	移動サロンで民生委員、主任児童委員と連携開始
平成13年 4月	3周年記念「すくすくフェスティバル」開催
平成13年10月	「ちょっぴい教室」開始
平成14年 6月	「ランチタイム講座」開始
平成15年 5月	「ファミリーパートナー養成講座」開始
平成16年 6月	移動サロン（国分寺台文化センター）開始
平成18年 4月	子育て支援センターを市保健相談センター内に移転
同 4月	「土曜すくすく広場」開始
同 4月	「年齢別サロン」開始
平成19年11月	「子育てフェスティバル」開催
平成20年 4月	「ホッとステーション」開始
同 11月	「園児サロン」開始
平成22年 4月	病後児保育事業の開始（すこやかハウス保育園より移管）
同 4月	移動サロン（北部体育館）開始
同 11月	「サークル・リーダー情報交換会」開催
平成23年 3月	「ボランティア養成講座」実施
同 5月	子育て支援センター利用者アンケート実施（第1回）
平成24年 4月	ファミリー・サポート・センター事業開始（市社協より移管）
同 8月	病後児保育・ファミサポのアンケート実施
平成25年 4月	「ホッとステーション」を「おやこふれあい広場」に名称変更
同 4月	移動サロン（本郷コミセン）休止
同 7月	子育てに関するアンケート実施
平成26年 7月	子育て支援センター利用者アンケート実施（第2回）
同 10月	「子育てサークル意見交換会」に名称変更
平成27年 4月	「おやこふれあい広場」を「おやこプレイルーム」に名称変更
同 4月	上河内保育園開園に伴い、一部事業を縮小して実施（4月～7月）
平成28年 2月	「ビギナーサロン」の実施



海老名市立子育て支援センター
海老名市中新田377番地
電話 046-233-6161

海老名市子ども・子育て支援事業計画 (平成 28 年 4 月改定版)

海老名市

1 計画見直しの趣旨

平成 27 年度から始まった新たな子ども・子育て支援制度では、各市町村は「子ども・子育て支援事業計画」を策定するよう定められました。

市では、国の示す学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、提供体制の確保の内容などのほか、海老名市独自の子ども・子育て支援の取組を定めた「海老名市子ども・子育て支援事業計画」を平成 27 年 3 月に策定しました。

しかしながら、計画策定から 1 年を経過したことを踏まえ、各事業の利用実績等を勘案すると、実態に合わせ、改訂する必要があるものと考えられます。

2 教育・保育の施設整備目標

この子ども・子育て支援事業計画では、国が示した「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込」の算出等のための手引き」に基づき、海老名市の保育施設の目標事業量を定めました。

しかしながら、ここで求めた算出量と平成 27 年 4 月 1 日の実績に基づく同 10 月 1 日の必要見込量とを比較すると大きな差異が生じている状態となっておりました。

このようなことから、昨年 11 月、実態に併せた「えびな待機児童解消プラン」を策定しました。本プランでは、市の懸案事項である待機児童問題を積極的に対応すべく、保育需要のピークとなる平成 31 年度までの計画を策定することとしました。

子ども・子育て支援事業計画は、国が示した手法であるニーズ調査からの算出に基づき、事業量を算出した上で計画を策定しているため、当計画は理想形を表した計画となっています。一方、実際の保育所申し込み状況を踏まえ、過剰な施設整備とならないよう努めることは、後年度の財政負担や持続的な施設運営をかんがみれば、不可欠な事項です。

これらを踏まえ、「子ども・子育て支援事業計画」の第 4 章第 3 節「幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進」について、「えびな待機児童解消プラン」に合わせ、改訂することとします。

3 子ども・子育て支援事業計画上の数値の改訂

上記のとおり、「子ども・子育て支援事業計画」の第 4 章第 3 節「幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進」の目標事業量については、大幅な改定を行うこととします。

このため、「子ども・子育て支援事業計画」本編の 73・74 ページ「目標事業量のうちの保育施設部分」及び 78 ページから 82 ページまで（「保育所充実事業」、「認定こども園充実事業」、「小規模保育事業」、「家庭的保育事業」、「居宅訪問型事業」、「事業所内保育事業」）を、次のとおり改訂し、差し替えるものとします。また、本編では記載していなかった認可外保育施設による確保の量について新たに記載し、保育施設全般についての記載を図ることとします。

なお、今回の改訂にあたっての元データとした資料については、【参考資料】として掲載しています。

○ 保育施設の目標事業量〔子ども・子育て支援事業計画 P74〕

計画の見直しにあたり、あらためて、平成 27 年 4 月実績をもとに目標事業量を算出します。

なお、4 月は待機児童が一番少ない時期にあたるので、平成 26 年度における 4 月から 10 月にかけての伸び率を平成 27 年 4 月実績に乗じた値を、平成 27 年度の目標事業量として設定します。平成 28 年度以降については、平成 27 年度目標事業量に人口推計結果を乗じて設定します。

この目標事業量と、平成 27 年 4 月 1 日現在の定員とを比較すると、各年において不足する整備量は下記のとおりとなります。

○ 目標事業量

◆【0 歳児】保育施設＋地域型保育事業（3 号認定）

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	166	167	167	166	165
施設定員	142	142	142	142	142
不足量	24	25	25	24	23

◆【1・2 歳児】保育施設＋地域型保育事業（3 号認定）

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	689	713	712	712	709
施設定員	499	499	499	499	499
不足量	190	214	213	213	210

◆【3 歳～5 歳児（就学前）】③保育施設（2 号認定）

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	998	969	965	978	999
施設定員	1,008	1,008	1,008	1,008	1,008
不足量	△10	△39	△43	△30	△9

保育所充実事業 [子ども・子育て支援事業計画 P78]

待機児童解消のため、積極的に認可保育所の定員増を図る必要があるため、現在、民間から相談を受けている実現性の高い、次に掲げる案件をプランに位置付けることとします。

平成 29 年 : 民間保育園の新設 (90 名)

平成 30 年 : 認可外保育施設の認可化 (60 名)

○ 目標事業量

【0 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	162	155	143	138	137
施設定員	132	144	150	156	156
不足人数	30	11	△7	△18	△19
確保人数	—	12	6	6	—

【1 歳～2 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	648	671	637	633	630
施設定員	459	535	565	584	584
不足人数	189	136	72	49	46
確保人数	—	76	30	19	—

【3 歳～5 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	979	945	941	942	963
施設定員	979	1,101	1,155	1,190	1,190
不足人数	0	△156	△214	△248	△227
確保人数	—	122	54	35	—

これにより定員超過の 1 歳～2 歳児についても、平成 31 年時点で不足人数が施設定員の 1 割以下になりまので、定員の弾力的運用で対応が可能な範囲になると思われます。

その他の保育事業

認可保育所以外については、現在の状況を踏まえ、整備量については修正することとします。

下記に示した取り組みは、現在のところ実現に向けて不確定要素が大きい部分もありますが、実現が困難な場合は認可保育所の取り組み拡大で補填する必要があります。

認定こども園充実事業（保育部分のみ）

〔子ども・子育て支援事業計画 P79〕

画 P79〕

○ 目標事業量

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	—	6	6
施設定員	—	—	—	6	6
不足人数	—	—	—	0	0
確保人数	—	—	—	6	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	—	18	18
施設定員	—	—	—	18	18
不足人数	—	—	—	0	0
確保人数	—	—	—	18	—

【3歳～5歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	—	36	36
施設定員	—	—	—	36	36
不足人数	—	—	—	0	0
確保人数	—	—	—	36	—

小規模保育事業 [子ども・子育て支援事業計画 P80]

○ 目標事業量

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	3	10	10	10	10
施設定員	5	10	10	10	10
不足人数	△2	0	0	0	0
確保人数	—	5	—	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	11	28	28	28	28
施設定員	14	28	28	28	28
不足人数	△3	0	0	0	0
確保人数	—	14	—	—	—

家庭的保育事業 [子ども・子育て支援事業計画 P81]

○ 目標事業量

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	1	1	1
施設定員	—	—	1	1	1
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	1	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	4	4	4
施設定員	—	—	4	4	4
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	4	—	—

居宅訪問型保育事業 [子ども・子育て支援事業計画 P81・82]

○ 目標事業量

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	5	5	5
施設定員	—	—	5	5	5
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	5	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	5	5	5
施設定員	—	—	5	5	5
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	5	—	—

事業所内保育事業 [子ども・子育て支援事業計画 P82]

○ 目標事業量

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	6	6	6
施設定員	—	—	6	6	6
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	6	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	24	24	24
施設定員	—	—	24	24	24
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	24	—	—

認可外保育事業 [子ども・子育て支援事業計画掲載外]

認可外保育施設については、現状市内に1施設ありますが、認可化移行施設として認可保育所に移行すべく準備を進めています。

このため、目標事業量については次のとおりとします。

【0歳児】

	H27	H28	H29
量の見込み	1	2	2
施設定員	5	2	2
不足人数	△4	0	0
確保人数	—	△3	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29
量の見込み	30	14	14
施設定員	26	14	14
不足人数	4	0	0
確保人数	—	△12	—

【3歳～5歳児】

	H27	H28	H29
量の見込み	19	24	24
施設定員	29	24	24
不足人数	△10	0	0
確保人数	—	△5	—

4 改訂部分のまとめ

【待機児童ゼロ達成に向けて】

これまでに整理したように、現在予定している様々な取り組みが実施されると、平成31年には、認可保育所の1・2歳児以外では見込量を定数が充足しています。なお、認可保育所の1・2歳児においても、定数の1割増しで見込量を充足することになります。

このようなことから、平成31年までの可能な限り早い時期の待機児童ゼロを目指し、民間保育園と連携・協力し取り組んでまいります。

【民間保育園の設立支援】

7章では、現在、認可保育所充実事業として予定されている民間保育園の定員増や新設、認可化移行等を定数に参入しているため、実現に向け、しっかりとサポートをする必要があります。ただし、その他の事業については、現在のところ実現性は未知数であるため、今後、新たに民間からの設置等の相談があれば、積極的に対応していく必要があります。

【公立保育園の定員拡大】

平成27～28年度においては、既存の公立保育所の増築等により、120名の定員増を図りました。これは、保育需要のピークに併せて、公立保育園として拡大できる部分については、公立の役割である需給調整役の責務を果たすべく取り組むものです。

【地域性を考慮した保育需要への対応】

プランでは、人口推計をもとに保育需要を算出し、市域全体での保育予定供給量と対比した結果、平成31年までには待機児童ゼロが達成できる見込みとなっています。ただし、海老名駅周辺地区においては、ここ数年、相当な人口増が見込まれるため、保育園の新設を検討します。また、東柏ヶ谷地区については、座間・綾瀬市と近接している地域性を考慮し、広域連携等の検討も必要となります。このように今後も地域ごとの需要把握に努め、保育園の配置検討を進める必要があります。

【将来の公立保育園のあり方】

このプランは、平成31年の保育需要のピークに合わせた待機児童解消計画となっていますが、期間内においても可能な限り待機児童ゼロの前倒しを目指します。また、平成32年以降は保育需要の減少が見込まれています。公立保育園については老朽化が著しい園もあるため、将来にわたる公立保育園のあり方を整理する必要があります。このため、現在進めている「公共施設再編計画」の中で、しっかりと検討してまいります。

【参考資料】

1 幼児の人口推計

子ども・子育て支援事業計画では、第四次総合計画の人口推計を使用しましたが、その後、市では「公共施設白書」で最新の人口推計を算出しているため、本プランでは公共施設白書の人口推計を用いることとします。

この中で幼児人口の推計は、今後5年程度は平成27年とほぼ横ばいで推移し、平成31年をピークにその後は微減傾向となり、約30年後は平成27年対比で13%程度減少する結果となっています。

◆人口推計結果

(海老名市公共施設白書より)

	H27	H28	H29	H30	H31	H35	H45	H55
5 歳	1,235	1,236	1,165	1,131	1,210	1,185	1,048	1,016
4 歳	1,221	1,151	1,119	1,197	1,197	1,170	1,036	1,012
3 歳	1,141	1,110	1,187	1,186	1,188	1,149	1,026	1,013
2 歳	1,101	1,175	1,173	1,174	1,169	1,127	1,017	1,010
1 歳	1,157	1,155	1,157	1,155	1,151	1,101	1,011	1,005
0 歳	1,132	1,137	1,136	1,131	1,124	1,078	1,001	1,001
0～5 歳合計	6,987	6,964	6,937	6,974	7,039	6,810	6,139	6,057

2 保育所の状況

現在、市内にある認可保育所は公立保育所が6園、私立保育所が14園の合計20園、認可保育所に移行予定の認可外保育施設が1施設、小規模保育施設が1園となっています。また、認可保育所の定員については、公立保育所が650人、私立保育所が1,130人の合計1,780となっています。また、認可保育所に認可予定の認可外保育施設の定員は40人、小規模保育施設は19人となっています。

◆海老名市内の認可保育所

(平成28年4月1日現在)

		名称	地域	設立年	定員
公立	1	柏ヶ谷保育園	北部	1971年	120人
	2	門沢橋保育園	南部	1972年	60人
	3	下今泉保育園	中央	1973年	90人
	4	中新田保育園	中央	1975年	200人
	5	勝瀬保育園	中央	1978年	60人
	6	上河内保育園	南部	2014年	120人
私立	1	たちばな保育園	中央	1967年	120人
	2	さがみ愛子園	中央	1956年	120人
	3	ふたば愛子園	北部	1958年	180人
	4	つちのこ保育園	南部	2004年	60人
	5	保育所すこやかハウス	中央	2007年	60人
	6	かしわ台あおぞら保育園	北部	2008年	60人
	7	さくらい保育園	北部	2009年	60人
	8	虹の子保育園	中央	2010年	60人
	9	虹の子保育園分園	中央	2010年	30人
	10	にんじん村保育園	北部	2011年	60人
	11	小田急ムック海老名園	中央	2014年	50人
	12	社家ゆめいろ保育園	南部	2014年	90人
	13	えびなの風保育園	中央	2015年	120人
	14	おひさま保育園	北部	2016年	60人

◆海老名市内の認可保育所に移行予定の認可外保育施設 (平成28年4月1日現在)

		名称	地域	設立年	定員
1		ひよこ保育園	中央	2001年	40人

◆海老名市内の小規模保育施設

(平成28年4月1日現在)

		名称	地域	設立年	定員
1		にこにこ保育園	中央	2015年	19人

3 子ども・子育て支援事業計画における目標事業量と実績との比較

子ども・子育て支援事業計画における平成27年度の目標事業量と、平成27年4月1日現在の実績、平成27年10月1日の必要見込量とを比較すると次のとおりとなります。

0歳児の必要見込量は計画の約6割、1・2歳児の実績は計画の3/4程度と、相当少ない状況でした。このため、目標事業量を現状に即した形で見直す必要があります。

※必要見込量＝平成26年度4月～10月の間の伸び率×平成27年4月1日実績

◆【0歳児】保育施設＋地域型保育事業（3号認定）

	計 画	実 績 H27.4.1	伸び率 4月～10月	必要見込量 H27.10.1	比較 見込量－計画
量の見込み	284人	114人	1.46	166人	△118人

◆【1・2歳児】保育施設＋地域型保育事業（3号認定）

	計 画	実 績 H27.4.1	伸び率 4月～10月	必要見込量 H27.10.1	比較 見込量－計画
量の見込み	906人	643人	1.07	689人	△217人

◆【3歳～5歳児（就学前）】保育施設（2号認定）

	計 画	実 績 H27.4.1	伸び率 4月～10月	必要見込量 H27.10.1	比較 見込量－計画
量の見込み	834人	979人	1.02	998人	164人

平成 28 年度における特定教育・保育施設の 利用定員変更について

1 概 要

特定教育・保育施設及び特定地域型保育施設の利用定員は、市が定めることとなっており、その設定に関しては、子ども・子育て支援法第 77 条の定めにより、子ども・子育て会議の意見を聴くこととなっています。

新設園については、前回会議（平成 27 年 12 月開催）にて御審議いただきましたが、ここで定員内訳の変更が生じたので、御報告します。

※ 海老名市では、利用定員を認可定員と同一としています。

2 変更内容

つちのこ保育園

設 置 者：社会福祉法人寿会

利 用 定 員：60 名（3 号認定；24 名、2 号認定；36 名）

【旧】60 名（3 号認定；30 名、2 号認定；30 名）

所 在 地：海老名市杉久保南四丁目 25 番 22 号

開 所 日：平成 16 年 4 月 1 日

変 更 日：平成 28 年 4 月 1 日

変 更 理 由：実際の受け入れ状況に合わせるよう認可定員を変更したため

※ 3 号認定：0～2 歳児、2 号認定：3～5 歳

平成28年度における特定教育・保育施設及び
特定地域型保育事業の利用定員設定について

教育・保育施設			利用定員			計	備考
設置者区分	設置者	施設名称	3号認定	2号認定	1号認定		
特定保育施設							
市町村	海老名市	柏ヶ谷保育園	33	87	0	120	
市町村	海老名市	門沢橋保育園	24	36	0	60	
市町村	海老名市	下今泉保育園	32	58	0	90	
市町村	海老名市	中新田保育園	82	118	0	200	
市町村	海老名市	勝瀬保育園	25	35	0	60	
市町村	海老名市	上河内保育園	37	83	0	120	
社会福祉法人	妙常会	たちばな保育園	51	69	0	120	
一般財団法人	春秋会	さがみ愛子園	30	90	0	120	
一般財団法人	春秋会	ふたば愛子園	45	135	0	180	
社会福祉法人	寿会	つちのこ保育園	24	36	0	60	内訳変更
社会福祉法人	ケアネット	保育所すこやかハウス	30	30	0	60	
社会福祉法人	あゆみ会	かしわ台あおぞら保育園	27	33	0	60	
社会福祉法人	慶泉会	さくらい保育園	24	36	0	60	
社会福祉法人	スプラウトユニティー	虹の子保育園	29	31	0	60	
社会福祉法人	スプラウトユニティー	虹の子保育園分園	12	18	0	30	
社会福祉法人	青い草の会	にんじん村保育園	27	33	0	60	
株式会社	木下の保育	小田急ムック海老名園	22	28	0	50	
株式会社	ステーション	社家ゆめいろ保育園	36	54	0	90	
社会福祉法人	プレマ会	えびなの風保育園	48	72	0	120	
株式会社	カスタムメディカル研究所	おひさま保育園	24	36	0	60	
特定保育施設 計			662	1,118	0	1,780	
特定教育施設							
個人	鍵渡 嘉正	海老名幼稚園	0	0	350	350	
個人	鍵渡 嘉正	有鹿幼稚園	0	0	210	210	
特定教育施設 計			0	0	560	560	
特定地域型保育事業							
小規模保育事業							
個人	木村 伸之	にこにこ保育園	19	0	0	19	
地域型保育事業 計			19	0	0	19	
総計			681	1,118	560	2,359	

「(仮)子育て応援宣言」の 策定状況について

平成28年4月28日
子ども子育て会議資料
保健福祉部 子育て支援課

はじめに

• 前回の経緯

- 平成27年度 第2回 海老名市子ども・子育て会議
 - 平成27年12月17日(火)10:00～11:30
- 概要
 - (仮)宣言名称の変更
 - 「子ども憲章」から「子育て応援宣言」に
 - 子ども憲章…市・子ども・保護者の3者がどうあるべきかを文言化
 - 子育て応援宣言…市が自主性を持って積極的に取り組む姿勢を宣言
 - 子育て世帯に向けたアンケートの実施

• 今回の進捗

- (1)アンケート実施状況、集計結果の報告
- (2)子育て応援宣言素案について

(1)子育て世帯に向けたアンケート

・実施状況

- ・ 回答総数：2,203件、回答率：約65%
 - ・ 第一回
 - ・ 実施時期：平成27年11月24日～12月7日
 - ・ 対象者：市内全小学校から2クラスずつ（計26学級）、
全中学校から3クラスずつ（計18学級）、
幼稚園2園の全児童、保育園6園の全児童の保護者
 - ・ 第二回
 - ・ 実施時期：平成28年1月12日～1月31日
 - ・ 対象者：子育て支援センター来場者、移動サロン利用者
 - ・ 備考：前回の子ども・子育て会議の意見(未入園児も対象に)を踏まえ追加実施

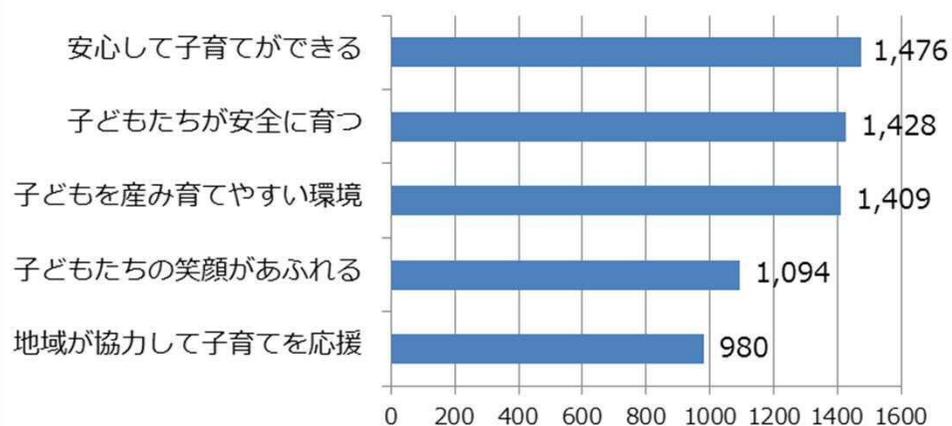
・アンケート質問内容

1. 宣言に盛り込むべき内容について共感するもの
2. 海老名市の子育て施策（満足している施策・不満に思っている施策）
3. その他、子育て応援宣言に関する自由意見

アンケート集計結果

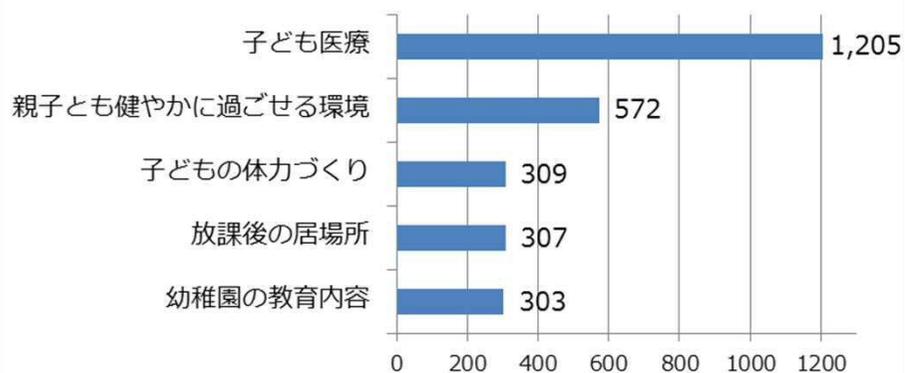
1. 宣言に盛り込む内容で共感できるもの

(複数回答可)



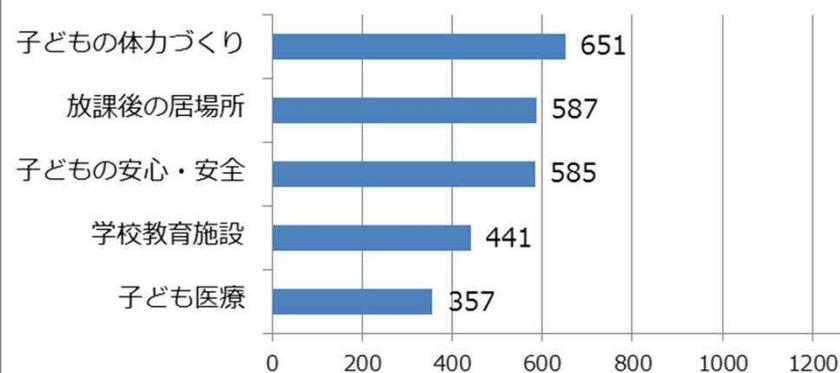
2-1. 海老名市の子育て施策で満足している分野

(2件まで回答可)



2-2. 海老名市の子育て施策で不満に思っている分野

(2件まで回答可)



3. その他、子育て応援宣言に関する自由意見

	項目	件数	割合	主な意見	
1位	学童	79	12%	学童保育料の見直し	公立化、学校内の学童設置、受け入れ拡大(長期休暇対応)
2位	公園設備	73	11%	公園の増設	子どもが遊べる場所の拡充
3位	保育園	67	10%	待機児童対策、人口増加の受け皿	預かり時間見直し
4位	子どもの安全	55	8%	通学路の整備(歩道、街灯など)、見守り	まちづくり計画 (ゲームセンター、パチンコ等)
5位	医療	49	7%	休日診療・夜間診療の受け入れ	
6位	中学校給食	48	7%	子どもへの支援 (成長期に栄養バランスのとれた給食を)	親への支援 (働く親の体力的・精神的負担軽減)
7位	施設	44	7%	子ども向け室内施設の充実	学校施設の改修
8位	支援センター	41	6%	利用しやすいサービス提供	支援施設の拡充
9位	教育	33	5%	他市との教育格差・市内の学力格差	教育の質の向上
10位	具体策	29	4%	具体策の実行を	
—	その他	143	22%	プール、公立幼稚園、地域など	
	合計	661	100%		

(2) 「(仮)子育て応援宣言」 素案について

• 名称案についての検討

- 「(仮)子育て応援宣言」 → 「(仮)子育て親子応援宣言」
 - 子育て応援宣言…子育て中の親がメイン
 - 子育て親子応援宣言…子育て中の親と子をメインに
 - 子が育つ過程の環境づくりをサポートする親と主役の子ども、双方に焦点を

• 宣言文言案について

- 以下のアンケート・ニーズ調査結果を反映
 - 子育て世帯に向けたアンケートの上位結果
 - 安心して子育てが出来る
 - 子どもたちが安全に育つ
 - 子どもを産み育てやすい環境
 - 「海老名市子ども・子育て支援事業ニーズ調査」(平成25年11月実施)
 - 子どもの年齢を問わず、回答者の8割が「**子どもの成長**」を身近に感じ取れることに**子育ての充実感・喜び**を感じると回答
⇒子どもの成長に関わる文言を

(仮)子育て親子応援宣言

• 策定趣旨

- 活気ある**持続可能な都市経営**の一環として
海老名で育つ子どもたちの将来を見据えたこれからの市の取り組みを
『**子育て親子応援宣言**』
として**広くPRし、子育て世帯の定住を促すことが目的**です
- また、宣言と同時に今後の取り組みを明記し
実現に向けた各施策の事業展開を図ってまいりたいと考えています

• 宣言素案

- 子どもを産み育てやすい環境を整え、安心して子育てができるまちにします。
- 子どもたちが安全に、元気に過ごせる環境を作ります。
- 海老名で育つ子どもたちの可能性を広げるための取り組みを進めます。

• 具体的取組

• 子どもを産み育てやすい環境を整え、安心して子育てができるまち

- 出産支援事業（不妊治療・不育症治療への助成）
- 幼児の教育・保育の課題解消に向けた取り組み（保育園の新設、定員増員）
- 地域での子育て見守りの充実（子育て支援センターの充実）

• 子どもたちが安全に、元気に過ごせる環境

- 子どもが過ごす時間・質・場所の改善
（学童保育・あそびっ子クラブの充実、えびなっ子スクールの充実）
- 健やかな子どもの育成、保護者の負担軽減
（子ども医療の充実、病後児保育・病児保育の検討）

• 海老名で育つ子どもたちの可能性を広げるための取り組み

- 子どもの学び場の充実
（小中一貫教育の推進、少人数指導体制の充実、ICT環境整備の拡充）
- 子どもの“たくましく生きる力”を育む取り組み
（高度スポーツ誘致事業、児童へのプール無料開放）

• 今後のスケジュール

